

西宮消防署建替事業基本計画策定等業務 公募型プロポーザルにかかる質問内容と回答

No.	質問項目	質問内容	回答
1	参考資料	「公募型プロポーザル説明書」 pg.5 「8. 選定及び特定(2)参考資料の貸与」で、委託先候補に選定された応募者には、敷地測量図・現消防署平面図を貸与するとありますが、新庁舎に配置予定の消防車両の台数・仮眠室の室数・敷地の地質調査結果等についてもご提示いただけますでしょうか。	「消防車両の台数」は、最大 17 台を予定しています。その内訳は、大型車両 8 台・中型車両 7 台・普通車両 2 台ですが、その他ピットスペースやコンテナ配置スペース等が車庫には必要と考えています。 「仮眠室の室数」は最大 42 室で、増加を見込んでいる女性職員の配置にも対応可能な仮眠室・その他有事の際の非常参集職員の仮眠場所を兼ねた和室等が必要と考えています。 「敷地の地質調査」は平成 29 年度に実施する予定であり、提示できるものではありません。
2	建替事業の概要	「西宮消防署建替事業の概要」 p7 「Ⅳ. 新庁舎の概要 1. 建築概要」 庁舎棟には通信鉄塔の設置が必要でしょうか。必要な場合、高さについてご教示ください。	現在の西宮消防署では消防救急デジタル無線のアンテナ設置場所として、デジタル化以前から使用している既設の鉄塔を利用しています。 電波の受信状況は、隣接建物など周囲の状況に影響されることから、現時点で通信鉄塔の必要性を判断することはできないため、建物計画に合わせて設置場所、設置方法を検討していくこととなります。
3		「西宮消防署建替事業の概要」 p8. 「2. 新庁舎規模等の算出(2) 職員数の想定」では新庁舎に勤務する職員数は約 90人と設定されていますが、その中でも女性職員の想定する割合についてご教示ください。	今後、女性職員は増員が見込まれますが、現時点では未定です。なお、西宮消防署には平成 29 年 4 月 1 日現在、2 人の女性職員を配置しています。